

びふか 議会です

こんにちは。

2025 年 8 月
北海道／美深町議会



町民の命と財産を守る
美深消防団

第2回
定例会

地域おこし協力隊増員見込む……………2～3ページ

一般質問

4 議員に町の答弁は……………4～7ページ

委員会報告

消防業務の現状と課題……………8ページ

政務活動費
収支報告

令和6年度政務活動費収支報告……………9ページ

街 & 仲
インタビュー

B2KGYMの皆さん……………10ページ

第134号

美深町議会

検索

美深町議会
ホームページ

美深町議会
Facebook



ホームページとFacebookから
議会の情報をご覧いただけます。

令和7年 第2回定例会

【6／18～20】

補正予算

地域おこし協力隊を新たに増員見込む 美深町の魅力発信や町の活性化に期待

第2回定例会は6月18日に開会し、草野町長から令和6年度の各会計決算状況と今春の農作業・農作物の生育状況の行政報告をはじめ、補正予算や条例の一部改正の提案説明が行われました。一般質問には4議員が登壇し、20日の最終日には追加議案や議会側からの意見書案2件が提案され、議案審議の結果、全議案を可決し閉会しました。

一般会計 補正予算

近年、道内各自治体で増加している地域おこし協力隊員は、美深町でも新たに2名の採用を見込み、報酬等の経費を追加。

農業振興費では地域の中核となる担い手が、経営改善を目指し、融資を受け機械等を導入する際に支援する農地利用効率化等支援交付金や、小規模土地改良事業の増加に伴う補助金の増額補正などが計上されました。

また、商店街活性化事業ではプレミアム付商品券をより購入しやすくするため、1セツト5千円で発行し、30

%のプレミアム率を継続するための補助など、一般会計補正予算は合計で5551万円の追加となりました。

主な質疑

地域おこし協力隊
活動費補助を補正

問

従来、協力隊活動の中で通信料は発生していたはずが、今回は補正予算で対応するのはなぜか。

答

活動費の中には通信料について、は、隊員がSNS等で情報発信をする際に動画での発信が増え、編集に係る経費や通信料

一般会計の主な補正

	金額
商店街活性化事業補助金	2,630万円
農地利用効率化等支援交付金	450万円
美深町小規模土地改良事業補助金	280万円
びふか温泉改修工事請負費	424万円
地域おこし協力隊報酬(2名分)	532万円
地域情報通信事業工事請負費	390万円

原案可決 全員賛成

質問者

荒川

が増加しているため、出先でも使用できるWi-Fi機器を契約する。

条例の 一部改正

美深町税条例の
一部改正

地方税法の一部を改正する法律の公布に伴い、美深町税条例の一部を改正するもの。

①総則

公示送達制度の見直しに係る改正。

②所得税

特定親族特別控除の創設に伴う所得控除及び各種申告書記載事項の改正をする。



町の課題解決に取り組む
地域おこし協力隊員

意見書2件を採択 国へ提出

- 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書
- ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

全員賛成で採択



意見書の詳細はこちらで
ご覧ください

- ③軽自動車税
(1)二輪車の種別割の車両区分の見直しに伴う税率及び減免申請書記載事項を改正する。
「(通称)新基準原付バイク」の区分を新設するもの。
- (2)マイナ免許証の運用開始に伴う減免申請時の提示情報を改正する。
- ④固定資産税
マンション(区分所有家屋)の大規模修繕に係る減額特例の適用について規定を加える。
- ⑤町たばこ税
「加熱式たばこ」に係る課税方式を見直し、激変緩和の観点から二段階で引き上げを実施する。

原案可決 全員賛成

美深町国民健康保険 税条例の一部改正

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令が施行され、基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額並びに保険税軽減対象世帯に係る所得判定基準が改正されたことによるもの。

問

今回の条例改正に伴う町内の対象世帯はどれほどか。

答

基礎課税額に係る限度額到達世帯については、令和6年度の所得情報から23世帯を見込み、同様に後期高齢者支援金等課税額では19世帯を見込んでいる。

質問者

藤原

原案可決 全員賛成

追加議案

ほっとプラザ・スマイルの設置及び管理に関する条例の一部改正

ホールに冷房設備を設置することに伴い、施設内全て夏期(5月～10月)に冷房を利用する場合の使用料金については、冬期の使用料金を適用することとする改正。

問

夏期料金は5月から10月の設定期間中は、冷房使用に関わらず冬期料金が適用されるのか。または冷房使用時のみなのか。

答

夏期の期間中、一回の貸館で冷房使用の有無により料金が適用される。

質問者

藤原

原案可決 全員賛成

第2回臨時会

6月4日

工事請負契約の締結

美深町民体育館改修工事

【契約金額】

10億8680万円

【契約の相手方】

橋本川島・山崎特定建設工事共同企業体

質問者

荒川

原案可決 全員賛成

財産の取得

教育用情報機器(タブレット)の更新取得
【取得金額】
1499万1350円

【取得先】

東日本電信電話株式会社

質問者

藤原・荒川
和田

原案可決 全員賛成

第3回臨時会

7月15日

一般会計補正予算(第2号)

6月上旬に町内の3農場で3頭が家畜伝染病(牛ヨネネ病)に感染していることが確認されたため、消毒作業に係る経費で家畜防疫推進協議会負担金を75万円追加補正するもの。

問

状況説明と感染による影響は。

答

5年に一回の定期検査で陽性が判明し、消毒による除菌作業を実施した。感染牛は殺処分され、人間には感染せず、酪農・畜産農家の経営に今のところ影響はない。

質問者

荒川・和田

原案可決 全員賛成

町政のここが聞きたい

YouTube
公開中

- ①増加する空き家 まちの住環境をどう守るのか
②高齢者が安心して暮らせる生活環境整備について



ふじ 藤 原 芳 幸 議員

問 放置住宅の抑制策が必要では

答

まちづくりには大きな課題
対策強化を検討したい

危険家屋への対応

本町は65歳以上の人口割合が42%を超え、人口減少も続き、町には多くの空き家が発生し、今後さらに増えていくことが危惧される。

安心安全を目指す町づくりをどのように進めるのか町長の考えを伺う。

質問

危険物件となつた空き家の所有者に、より強い指導や対応を図ることはできないか。

町長

空き家は所有者に管理責任と起こったことに対する責任があり、危険となつた住宅の状況の把握に努め、必要に応じて個別対応を行い、状況が悪化する前にも対応してきているが、関係する担当内で連携し、住宅だけでなく店舗や倉庫、事務所など総合的に評価し、取り組みを

放置住宅の抑制

強化していきたい。

質問

空き家の発生は今後も増加することが想定されることから町民に再利用時の支援や解体補助の増額など対策を強化し、放置住宅の発生を抑制していくべきではないか。

町長

町としても、これから空き家が増加していくものと認識しており、真剣に取り組む必要があると考えている。

町長

令和5年に発令した快適な住まいづくり商業補助の条例では解体費補助や移住者への購入補助を盛り込み充実をさせたものとしたが、近年の物価高騰や解体費用の増加が進み、経済的負担が増している。

対策強化を望む声も届いており、空き家対策に重点を置いた実態

問

緊急通報システムの
利用拡大を

答

設置希望者は連絡を

調査も行い、内容を協議、検討していきたい。

質問

高齢者が安心して暮らせるよう町の事業として緊急通報システムがあるが、事業を知らない方もおり、周知方法を工夫して利用の拡大を進めてはどうか。

町長

緊急通報システムは60基保有していて、地域包括支援センターが民生委員と協力して希望者宅へ設置し、年1回機器の点検を行い、希望があった42世帯に設置している。

対象者には説明をしてきているが、設置を希望する方には、早急に対応をしていく。



通報に対応する消防署員

町のこころが聞きたい



きのした こう ゆう 議員
木 下 広 悠

- ①地方創生 2. 0 を契機に美深町の創生を
- ②観光客増加策及び美深町の広告費について



YouTube
公開中

問

第二世代交付金の活用の議論は

答

今後の政策会議等で

議論を進めていく

質問

石破政権肝心の政策「地方創生 2. 0」の「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第二世代交付金）活用」の議論は、既存のチョウザメ事業等と並行して小規模でも新しい事業に着手していく事が地域活性化のためにも重要では。

町長

令和 7 年度の予算編成で町民体育館の改修工事の財源確保の議論を行ったが、7 年度の当初事業で交付金活用は実施出来ていない。

地方創生事業は単発でその都度行うのでは無く、町全体でテーマを持って行うべきと考えている。

現状、市町村情報交換会でも他自治体の事業を知る事に努め、今後政策会議や秋の総合計画のローリング等で関係部署と議論を進めていきたいと考えているので、今後も引き続き御助言頂きたい。

問

観光客増加の為の大規模な P R の拡充は

答

情報収集を行いながら効果的な発信を行っていく

質問

美深町の観光客入込数を大幅に増やす為に SNS、雑誌広告、インフルエンサーとの契約などを利用して P R を拡大していく考えは。

町長

現在アウトドア企業との連携を視野に入れ、事務レベルではあるが検討を進めている。

S N S については今年の 4 月から広報担当の地域おこし協力隊を任用し、この活動に期待している。

インフルエンサー公募については即答は出来ないが、今後も情報収集を行いながら観光客増加に向けて効果的な発信を行っていく。



広報担当の地域おこし協力隊による
Instagram への投稿内容

< Instagram >

美深のキムさん



地域おこし協力隊
キム・ダフンさんの
Instagram

町のこころが聞きたい

①未婚化、晩婚化対策に向けた
結婚パートナー対策について

YouTube
公開中



なか せ りょう た 議員
中 瀬 亮 太

問

美深町全体での
結婚パートナー対策は

答

町として積極的に
応援していく

結婚パートナー対策
は、我がまちだけではなく各自自治体でも課題とされる問題であり、少子化に伴う学校の存続や部活動の活動停滞、様々な問題が懸念されるが、現在は農業後継者育成協議会にて農業者に向けた結婚パートナー対策しか行っていないため、美深町の未婚者に向けた結婚パートナー対策をどのよう
質問
に考えているか、町長に問う。

町長
美深町未婚者の結婚に対する意識調査や結婚意欲を向上させる取組は、結婚パートナー対策については、農業後継者育成協議会が中心となり、婚活交流会を行っている。結婚意欲を向上させる取組は、昨年度から開催している異業種交流会にて、出会いや結婚を意識するきっかけにしていきたい。



質問
3月予算委員会にて町長が、町内に住む商工業を含めた対応が結婚パートナー対策に尽きると答弁されていたが、具体策は。

町長
基幹産業の農業を守り、持続発展させるためには、農業者を中心にせざるを得ない状況であると考え。また、商工会からも意識調査に伴うアンケート等を積極的にやってほしいという要望を受けていないため、交流を深める場を積極的に作る機会を行政として応援していきたい。

問

子育て世帯への
更なる支援は

答

具体策があれば
検討する

質問
結婚、出産後の独自支援や取組がないと思われるが、美深町に住んでもらえるための施策は。

町長
今年度作成した子育て世帯に配布した子育てガイドブックを利用していただき、末永く美深町に住んでいただき、子育てしていただけるよう

事業展開を進めている。全国では、新婚生活に伴う住宅のリフォーム費用や引っ越し費用に対して応援事業を行っている自治体もあるが、美深町の取組は他の自治体に劣っていると思っていない。

町のこころが聞きたい



YouTube
公開中



もちつききよたか
望月清貴 議員

- ①熱中症予防対策について
- ②自転車用ヘルメットの着用促進について
- ③こども・子育て支援事業計画の概要等について

問

町内への小児科医師の確保に向けた取り組みを約束できないか

答

求める声は理解するが医師不足や経営上の問題などから非常にむずかしい

熱中症予防対策について

質問

熱中症は死亡に至ることもある恐ろしいものだ。救急搬送の状況、クーリングシエルト（暑熱避難施設）確保、エアコンなど冷房機器の購入支援の考えは。国の交付金を活用するなど、ぜひ検討を。

町長

救急搬送は、令和4年度1人

5年度8人、6年度6人であり、その半数が高齢者であった。クーリングシエルトは開始を準備しているが、冷房機器は健康上の支障や誤った操作の心配もあり、購入支援は行わない。地域全体で啓発活動など予防対策を強化するよう取り組む。

こども・子育て支援事業計画の概要等について

質問

計画策定前のニーズ調査で「子育てしやすいまちづくりのために最も重要だと思うこと」の問いに、「小児医療体制の充実」との回答が最も多かった。

子育てしやすいまちづくりのために最も重要だと思うこと
(就学前児童の保護者：今回調査の回答上位8位まで抜粋)

	今回調査 (令和6年)	前回調査 (平成31年)
小児医療体制の充実	61.0%	48.8%
子育てへの経済的支援の充実	53.7%	40.5%
乳幼児の遊び場(公園や児童館など)の整備	51.2%	33.3%
子育てしながら働きやすい職場環境の整備	43.9%	41.7%
母子保健サービス(乳幼児健康診査や予防接種など)の充実	22.0%	17.9%
小中学生の心身の健やかな成長への支援	19.5%	33.3%
幼児センターの充実	9.8%	9.5%
子育てに関する相談や情報提供の充実	7.3%	7.1%

第3期 美深町こども・子育て支援事業計画書より作成
「小児医療体制の充実」は小学生保護者の回答でも1位になった

広域的・専門的な小児科医療、救急や入院体制は名寄市立総合病院が中心になるが、市

町村単位の地域の一次医療として、美深厚生病院などと協議の上で、①開業医誘致制度を活用した町内への診療所の誘致活動、または②美深厚生病院への3人目の医師に小児科医師の配置を要請するなど、取り組みを約束できないか。

町長

小児科医師を求める声は理解するが、名寄市との距離的な環境、小児科医師の不足、少子化による経営上の問題などから、町内への誘致には困難が考えられる。

また、美深厚生病院には運営支援を行い、医師確保も困難な中で何とか2人体制を維持しているのが実態。

要望とまではいかないものの、将来的な医師の異動等の場合に小児科の医師についてお話しすることは、やぶさかではない。

○ほかに「自転車用ヘルメットの着用促進について」として、啓発活動の状況や、命を守るための安全対策として、購入を促進するための支援を行う考えはないか質問しました。

消防業務の現状と課題について

総務住民
常任委員会

調査日

令和7年5月12日

調査事項・内容

①緊急通報装置の機能及び配備状況並びに更新計画

保健福祉課が主体となり、民生委員などと協議の上、消防署に設置が依頼される装置の構成は端末機・ハンズフリー・ペンダント型と各種センサー（ガス・煙・熱）。

ペンダント



端末機



ハンズフリー



5年度から毎年20台を更新し、現在43世帯に設置、令和7年度は60台の運用を予定。

②消防職員及び団員の状況と今後の配置計画

消防団員は定員70名に対し65名と、当町においても全国同様、団員数の減少が課題。職員は若年層の育成と有資格者の確保が必要。

③団員の訓練内容と出席状況、緊急時の配置計画

定期的に訓練を実施しているが、祝祭日の参加が少ないため、平日の参加しやすい時間帯に変更している。招集方法は事前に招集日を伝えた上で、電話以外にスマートフォンアプリを活用して実施の予定。

④消防機材の配備状況と更新計画

消防機材はポンプ車・救急車両・救助船などがあり、万全を図るためにも計画的な更新に努めているが、現在、平成4年のポンプ車があり、令和8年度の更新を計画している。

消防車は概ね30年経過で更新予定で救急車両は概ね10年経過で更新予定。バッテリーは5年毎に交換。大型車両のタイヤ交換は概ね10年、普通車両は概ね5年で交換を実施。

⑤救急搬送の状況

令和6年度は300件（うち美深173名・名寄115名）令和4～5年と比較すると増加傾向で6年度は消化器系が多く、腸炎、腸閉塞の疾病が増加した。

調査のまとめ

緊急通報装置設置世帯は人口減少に伴い減少傾向にあるが、予備機もあることから有効活用を図る必要がある。団員数は5名の欠員で、全国的な課題だが、民間のみならず行政職

の参加による充足率の向上を図る自治体もある。期待する。

国の方針として、マイン救急による主治医・病院情報の活用が進められており、当町においても今後体制を整備しなければならない。



救急・火事の際を想定しての通報訓練も実施



全道町村議会議員研修会（7月8日）－札幌市－



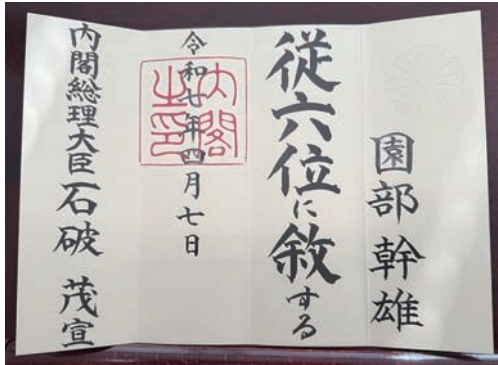
7月9日

現地視察：月形町「月形温泉ゆりかご・道の駅275つきがた」
 ：奈井江町「奈井江町交流プラザ みなクル」

政務活動費収支報告（令和6年度分）（円）

議 員 名	交付額	使用額	返納額
木下 広悠	156,000	26,227	129,773
望月 清貴	156,000	142,982	13,018
中瀬 亮太	156,000	156,000	0
名取 明美	156,000	55,205	100,795
田中真奈美	156,000	43,410	112,590
小口 英治	156,000	156,000	0
藤原 芳幸	156,000	14,787	141,213
和田 健	156,000	146,475	9,525
荒川 賢一	156,000	156,000	0
南 和博	156,000	156,000	0
蠣崎 一生	117,000	117,000	0
計11名	1,677,000	1,170,086	506,914

収支の詳細は情報公開条例により閲覧もできます。



議員として5期20年
 （S62年5月～H19年4月）
 議長として4年
 （H15年5月～H19年4月）

頃学んでおります。
 美深を「住みやすい町に」「住んで良かったと思う町」と願う気持ちは議員も町民も役場職員も一緒なはずなのに、情報共有出来ないことも多々あって、足りないのは、情報発信はもとより行政に興味を持ってもらい話し合いをすることかなと考えを巡らせています。



議員とい
 う立場で今
 までは違
 う視点で、
 町の制度、
 沢山の事業
 財政の事な
 ど、恥ずか
 しながら今

住む方々が思う課題。これから必要なものは、こうあればいいと思う理想。今ある事業でどれだけのことができるのか。やれることは限られているのかもしれない。ですが、視点を変えれば一歩前進の道もあるはず。
 議会広報特別委員会には、議会だよりのほかに「広聴」の役割もあります。ぜひ各団体やグループなどのお話を伺いたいと懇願しておりますので、議員、または議会事務局まで一報を。
 「町は住む人みんなで作るもの」「住む人が元気に活躍すれば町は元気になる」と思いながら日々精進する毎日です（情報発信頑張ります）。
 田中 真奈美 記

議会の動き

- 6/4 議会運営委員会 第2回臨時会
- 6/9 議会運営委員会
- 6/10 議会広報特別委員会
- 6/18 第2回定例会開会 一般質問・提案説明
- 6/19 総務住民常任委員会 産業教育常任委員会
- 6/20 次期議会構成等についての調査特別委員会
- 7/1 議会運営委員会 議案審議、定例会閉会
- 7/8 議会広報特別委員会
- 7/15 全道町村議会議員研修会
- 7/22 議会運営委員会 第3回臨時会 全員協議会
- 7/24 釧路町議会視察来庁
- 7/28 議会広報特別委員会
- 7/28 総務住民常任委員会 所管事務調査 次期議会構成等についての調査特別委員会
- 8/4 産業教育常任委員会 所管事務調査
- 8/19 全道議会広報研修会

第13弾 なかまち 美深 街&仲間インタビュー

B2KGYM [ビーツーケージイム]

今回はB2KGYMの皆さんです。日々のトレーニングしているところにお邪魔しました。

設立の経緯は？

▼設立は令和2年12月10日に設立しました。

▼コロナ禍でトレーニングブームだったから！

部員数や活動は？

▼部員は20代〜70代まで34名いますよ。

▼各々でトレーニングをしているが、集まったメンバーで筋肉会話をしています！

イベントへの参加は？

▼夜市に出店したり、青空ベンチプレス交流会を開催して、ベンチプレスの記録会を行っています。

▼交流会は、町外からも参加してもらって楽しんでま



< Instagram >
B2KGYM



す。主に、名寄市からの参加者が多く、中川町からの参加者もいましたよ。

▼今年は初めて夏まつりに出店しました。

▼年末には、みんなでトレーニング室の大掃除をして、一年間のみんなの汗を綺麗にします。

▼ちなみに、イベントで出店した売上は、トレーニング室の充実化を図るために、美深町にトレーニング器具を寄付しています！

今後の目標は？

▼美深町でこんなトレーニングや筋トレが出来ますって、もっとPRしていきたいですね。

▼美深町のトレーニング室は設備が充実していて、利用料も安いから、他の市町村に負けてない施設なのでもっとアピールして利用者を増やしていきたい。



▼自分たちのトレーニングしている姿を通して、今までトレーニングしたことない方や高齢者の方にも、健康維持に繋がることだから、利用を促していきたい。

幅広い年齢層のメンバーが楽しくトレーニングし、美深町の健康を最前線で守り、誰もが気軽にトレーニングできる環境を整えてくれました。

今号の表紙



令和7年7月18日に「北海道消防操法訓練大会」が北海道消防学校（江別市）で開催され、上川北部消防事務組合から美深消防団の選手5名が出場しました。

大会には全道各地から12自治体の消防団が参加し、日頃の訓練の成果を競い合いました。

26年ぶりの出場となった美深消防団は、大会まで50日間の特別訓練で磨かれた技術を最大限に発揮していました。